



ユアサ商事株式会社

証券コード 8074
決算説明会資料

2016年4月-2016年9月

2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月10日

代表取締役社長 佐藤悦郎



1. 連結損益計算書の概要

(単位：百万円)	2016年3月期	2017年3月期	増減率	業績計画	計画 対比
	第2四半期 実績	第2四半期 実績		2016年5月発表	
売上高	209,278	203,192	▲2.9%	215,000	▲5.5%
売上総利益	19,284	19,330	+0.2%	-	-
(売上総利益率)	9.2%	9.5%	+0.3ポイント	-	-
販売費及び一般管理費	14,901	15,755	+5.7%	-	-
営業利益	4,383	3,575	▲18.4%	4,400	▲18.7%
(営業利益率)	2.1%	1.8%	▲0.3ポイント	-	-
経常利益	4,743	3,949	▲16.7%	4,800	▲17.7%
(経常利益率)	2.3%	1.9%	▲0.4ポイント	-	-
税金等調整前四半期純利益	4,775	4,082	▲14.5%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,283	2,703	▲17.7%	3,310	▲18.3%

2. 事業セグメント別の販売状況

(単位：百万円)	売上高				
	2016年 3月期	2017年 3月期	増減率	2017年3月期 対前期増減率	
	第2四半期	第2四半期		1Q H28.4-6	2Q H28.7-9
産業機器部門	30,734	31,888	+3.8%	+0.9%	+6.1%
工業機械部門	53,754	48,670	▲9.5%	▲8.3%	▲10.3%
住設・管材・空調部門	60,397	61,628	+2.0%	▲1.5%	+5.0%
建築・エクステリア部門	21,189	21,221	+0.2%	▲0.9%	+1.1%
建設機械部門	17,181	17,092	▲0.5%	▲6.7%	+3.0%
エネルギー部門	14,648	11,370	▲22.4%	▲28.3%	▲15.7%
その他部門	11,372	11,320	▲0.5%	+3.2%	▲3.6%
(うち消費財)	(7,406)	(7,449)	(+0.6%)	(+8.2%)	(▲5.0%)
(うち木材)	(3,955)	(3,856)	(▲2.5%)	(▲3.8%)	(▲1.0%)
合計	209,278	203,192	▲2.9%	▲5.0%	▲1.2%

3. 事業セグメント別の販売状況【産業機器部門】

〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1 Q実績 (2016.4-6)	2Q実績 (2016.7-9)	合計
売上高	13,920	17,968	31,888
前年同四半期増減率	+0.9%	+6.1%	+3.8%
営業利益	196	563	759
前年同四半期増減率	+109.1%	+20.8%	+35.4%
営業利益率 (前年同四半期比)	1.4% (+0.7ㇰ°ㇰト)	3.1% (+0.3ㇰ°ㇰト)	2.4% (+0.6ㇰ°ㇰト)

〈今期のトピックス〉



2016年5月に稼働した新・関東物流センターには65,000アイテムが保管されております。

〈実績〉

◇【売上高】+3.8%増収
主力の切削工具、測定器具、制御関連機器などの販売に注力

◇【営業利益】+35.4%増益
・在庫売上の拡大（39億89百万円+5.7%増）
・電子商取引の拡大（14億15百万円+3.0%増）

4. 事業セグメント別の販売状況【工業機械部門】

〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1 Q実績 (2016.4-6)	2 Q実績 (2016.7-9)	合計
売 上 高	20,276	28,394	48,670
前年同四半期増減率	▲8.3%	▲10.3%	▲9.5%
営 業 利 益	511	1,347	1,858
前年同四半期増減率	▲37.1%	▲13.4%	▲21.6%
営 業 利 益 率 (前年同四半期比)	2.5% (▲1.2ポイント)	4.7% (▲0.2ポイント)	3.8% (▲0.6ポイント)

〈今期のトピックス〉



2016年7月にロボットエンジニアリング（株）を設立し、産業用ロボットのセットアップやアフターサービスを専門に請け負う体制を整備いたしました。

〈実績〉

＜【工業機械部門】国内・海外別内訳＞

(単位：百万円)	国内	海外	合計
売 上 高	41,164	7,505	48,670
増 減 額	▲1,899	▲3,186	▲5,085
増 減 率	▲4.4%	▲29.8%	▲9.5%

◇【国内】

各種補助金制度と「グランドフェア2016」を組み合わせた販促活動に注力

◇【海外】中国・東南アジアの景気低迷により減収

5. 事業セグメント別の販売状況【住設・管材・空調部門】 〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1 Q実績 (2016.4-6)	2 Q実績 (2016.7-9)	合計
売 上 高	27,025	34,603	61,628
前年同四半期増減率	▲1.5%	+5.0%	+2.0%
営 業 利 益	655	1,206	1,861
前年同四半期増減率	+22.3%	▲0.1%	+6.7%
営 業 利 益 率 (前年同四半期比)	2.4% (+0.4ㇼ°ｲﾄ)	3.5% (▲0.2ㇼ°ｲﾄ)	3.0% (+0.1ㇼ°ｲﾄ)

〈今期のトピックス〉



住宅着工戸数の回復により主力商品
(住設機器、管材・空調機器) が伸長しました。

〈実績〉

◇【売上高】 +2.0%増収

- ・主力の住設機器、管材、空調機器が伸長
- ・太陽光発電システム関連は▲18.8%減

◇【営業利益】 +6.7%増益

- ・幅広い商材を強みにした提案営業の強化により増益
＜創エネ機器（太陽光発電・蓄電池他）販売実績＞

(単位:百万円)	住宅用 (10kW未満)	産業用 (10kW以上)	合計
売 上 高	5,496	1,780	7,276
比 率	76.3%	23.7%	100%
増 減	▲19.6%	▲16.0%	▲18.8%

6. 事業セグメント別の販売状況【建築・エクステリア部門】 〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1 Q実績 (2016.4-6)	2 Q実績 (2016.7-9)	合計
売上高	10,306	10,915	21,221
前年同四半期増減率	▲0.9%	+1.1%	+0.2%
営業利益	204	279	483
前年同四半期増減率	▲9.5%	+7.3%	▲0.5%
営業利益率 (前年同四半期比)	2.0% (▲0.2ポイント)	2.6% (+0.2ポイント)	2.3% (+0.0ポイント)

〈主な取扱商材〉



住宅エクステリア
(物置、カーポート他)
土木道路資材
(ガードレール、橋梁他)
外構資材 (フェンス他)
金属建材 (車止め他)
建築金物、他

〈実績〉

◇【売上高】 +0.2%増収

- ・住宅エクステリアや金属建材の販売に注力
- ・公共工事の減少から土木・道路資材が減

◇【営業利益】 ▲0.5%減益

- ・第1四半期での減収により微減

7. 事業セグメント別の販売状況【建設機械部門】

〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1 Q実績 (2016.4-6)	2 Q実績 (2016.7-9)	合計
売上高	5,733	11,359	17,092
前年同四半期増減率	▲6.7%	+3.0%	▲0.5%
営業利益	59	319	378
前年同四半期増減率	▲48.6%	▲22.8%	▲28.7%
営業利益率 (前年同四半期比)	1.0% (▲0.9ポイント)	2.8% (▲0.9ポイント)	2.2% (▲0.9ポイント)

〈今期のトピックス〉



Genie社（米国）
高所作業車



イベント市場向けトイレハウス等の差別化商品の販売に注力いたしました。

〈実績〉

◇【売上高】 ▲0.5%減収

- ・ レンタル機械の稼働率低下の影響を受け新規設備投資が低調に推移
- ・ 産業用レンタル商材（高所作業車）やイベント市場向け商材の販売に注力

◇【営業利益】 ▲28.7%減益

- ・ 第1四半期の減収と小型機器等の高利益率商品の販売不振により減益

8. 事業セグメント別の販売状況【エネルギー部門】

〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1 Q実績 (2016.4-6)	2 Q実績 (2016.7-9)	合計
売上高	5,558	5,812	11,370
前年同四半期増減率	▲28.3%	▲15.7%	▲22.4%
営業利益	▲7	65	58
前年同四半期増減率	-	▲30.1%	▲49.4%
営業利益率 (前年同四半期比)	▲0.1% -	1.1% (▲0.2ポイント)	0.5% (▲0.3ポイント)

〈主な取扱商品〉



石油製品
民生用燃料
船舶用燃料
産業用燃料、他

〈実績〉

- ◇【売上高】 ▲22.4%減収
 - ・ 原油価格の低迷と円高基調により減収
- ◇【営業利益】 ▲49.4%減益
 - ・ 売上減の影響による減益

9. 事業セグメント別の販売状況【その他部門】

〈四半期推移〉

(単位：百万円)	1 Q実績 (2016.4-6)	2 Q実績 (2016.7-9)	合計
売 上 高	5,382	5,938	11,320
前年同四半期増減率	+3.2%	▲3.6%	▲0.5%
営 業 利 益	▲34	147	113
前年同四半期増減率	-	+28.9%	+63.4%
営 業 利 益 率 (前年同四半期比)	-	2.5% (+0.6ポイント)	1.0% (+0.4ポイント)

〈主な取扱商品〉



季節家電（扇風機、コタツ、ストーブ他）、調理家電、生活家電、木材製品、他

〈実績〉

◇【消費財事業】売上高7,449百万円（+0.6%増収）

- ・生活・調理・季節家電などのP B商品の品揃え強化
 - ・ECサイト「ユアサeネットショップ」での販売強化
- 売上高96百万円（+12%増）

◇【木材事業】売上高3,856百万円（▲2.5%減収）

- ・為替の変動により輸入材の販売が減少

10. 売上総利益・販売管理費・営業利益・経常利益・四半期純利益

(単位：百万円)	2016年3月期	2017年3月期	増減額	増減率
	第2四半期 実績	第2四半期 実績		
売上総利益	19,284	19,330	46	+0.2%
売上総利益率	9.2%	9.5%	-	+0.3ポイント
販売費及び一般管理費	14,901	15,755	854	+5.7%
営業利益	4,383	3,575	▲808	▲18.4%
営業外収益 (受取利息、配当金、他)	932	985	52	-
営業外費用 (支払利息、他)	571	610	38	-
経常利益	4,743	3,949	▲794	▲16.7%
特別利益	97	147	49	-
特別損失	65	14	▲51	-
税金等調整前四半期純利益	4,775	4,082	▲693	▲14.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,283	2,703	▲579	▲17.7%

1 1. 連結貸借対照表 (資産の部)

単位：百万円

2016年3月期		2017年3月期 第2四半期
流動資産 169,070	▲12,552	流動資産 156,517
固定資産 33,821	+2,466	固定資産 36,287

総資産1,928億円 (▲100億円)

- 受取手形及び売掛金 ▲135億円
- 現金及び預金 ▲4億円
 - ・ 営業C F +56億円
 - ・ M & Aによる株式取得▲24億円
 - ・ 配当金の支払い▲15億円
 - ・ 借入金の返済▲9億円

(負債・純資産の部)

単位：百万円

2016年3月期		2017年3月期 第2四半期
流動負債 141,016	▲11,117	流動負債 129,899
固定負債 4,567	+222	固定負債 4,789
純資産 57,307	+808	純資産 58,116

純資産581億円 (+8億円)

- 利益剰余金 +11億円
- 自己資本比率 29.8% (+1.8ポイント)

負債1,347億円
(▲109億円)

- 支払手形及び買掛金 ▲95億円
- 借入金 ▲9億円
- (有利子負債残高) 40億円
- (ネット有利子負債残高) ▲262億円

12. 2017年3月期連結業績予想

(単位：百万円)	2017年3月期		
	前半実績（前年比）	後半予想（前年比）	通期予想（前年比）
売上高	203,192 (▲2.9%)	243,808 (+4.7%)	447,000 (+1.1%)
売上総利益	19,330 (+0.2%)	23,370 (+9.9%)	42,700 (+5.3%)
(売上総利益率)	9.51% (+0.30ポイント)	9.59% (+0.46ポイント)	9.55% (+0.38ポイント)
販売費及び一般管理費	15,755 (+5.7%)	16,445 (+7.6%)	32,200 (+6.7%)
営業利益	3,575 (▲18.4%)	6,925 (+15.8%)	10,500 (+1.4%)
(営業利益率)	1.76%	2.84%	2.35%
経常利益	3,949 (▲16.7%)	7,351 (+16.8%)	11,300 (+2.4%)
(経常利益率)	1.94%	3.02%	2.53%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,703 (▲17.7%)	4,797 (+22.9%)	7,500 (+4.3%)

13. 2017年3月期セグメント別業績予想

(単位：百万円)		2017年3月期					
		前半実績（前年比）		後半予想（前年比）		通期予想（前年比）	
【産業機器】	売上高	31,888	+3.8%	33,712	+3.9%	65,600	+3.8%
	営業利益	759	+35.4%	941	+9.5%	1,700	+19.7%
	（営業利益率）	2.4%	+0.6ㇰ イト	2.8%	+0.1ㇰ イト	2.6%	+0.4ㇰ イト
【工業機械】	売上高	48,670	▲9.4%	63,330	+0.5%	112,000	▲4.1%
	営業利益	1,858	▲21.6%	2,752	+5.9%	4,610	▲7.2%
	（営業利益率）	3.8%	▲0.6ㇰ イト	4.3%	+0.2ㇰ イト	4.1%	▲0.2ㇰ イト
【住設・管材・空調】	売上高	61,628	+2.0%	76,072	+12.7%	137,700	+7.7%
	営業利益	1,861	+6.7%	3,109	+24.6%	4,970	+17.2%
	（営業利益率）	3.0%	+0.1ㇰ イト	4.1%	+0.4ㇰ イト	3.6%	+0.3ㇰ イト
【建築・エクステリア】	売上高	21,221	+0.2%	27,979	+5.5%	49,200	+3.1%
	営業利益	483	▲0.5%	927	+18.3%	1,410	+11.1%
	（営業利益率）	2.3%	+0.0ㇰ イト	3.3%	+0.4ㇰ イト	2.9%	+0.2ㇰ イト
【建設機械】	売上高	17,092	▲0.5%	18,308	+4.1%	35,400	+1.8%
	営業利益	378	▲28.7%	422	+4.6%	800	▲14.3%
	（営業利益率）	2.2%	▲0.9ㇰ イト	2.3%	▲0.0ㇰ イト	2.3%	▲0.4ㇰ イト
【エネルギー】	売上高	11,370	▲22.4%	12,430	▲10.2%	23,800	▲16.5%
	営業利益	58	▲49.4%	202	+1.1%	260	▲17.3%
	（営業利益率）	0.5%	▲0.3ㇰ イト	1.6%	+0.1ㇰ イト	1.1%	▲0.0ㇰ イト
【その他】	売上高	11,320	▲0.5%	11,980	+0.9%	23,300	+0.3%
	営業利益	113	+63.4%	147	+11.4%	260	+29.3%
	（営業利益率）	1.0%	+0.4ㇰ イト	1.2%	+0.1ㇰ イト	1.1%	+0.2ㇰ イト
【合計】	売上高	203,192	▲2.9%	243,808	+4.7%	447,000	+1.1%
	営業利益	3,575	▲18.4%	6,925	+15.9%	10,500	+1.4%
	（営業利益率）	1.8%	▲0.3ㇰ イト	2.8%	+0.2ㇰ イト	2.3%	+0.1ㇰ イト

2014.4－2017.3 中期経営計画

YUASA LEGACY 350

「産業とくらし」の分野で
アジア最大級の「流通プラットフォーム」を構築



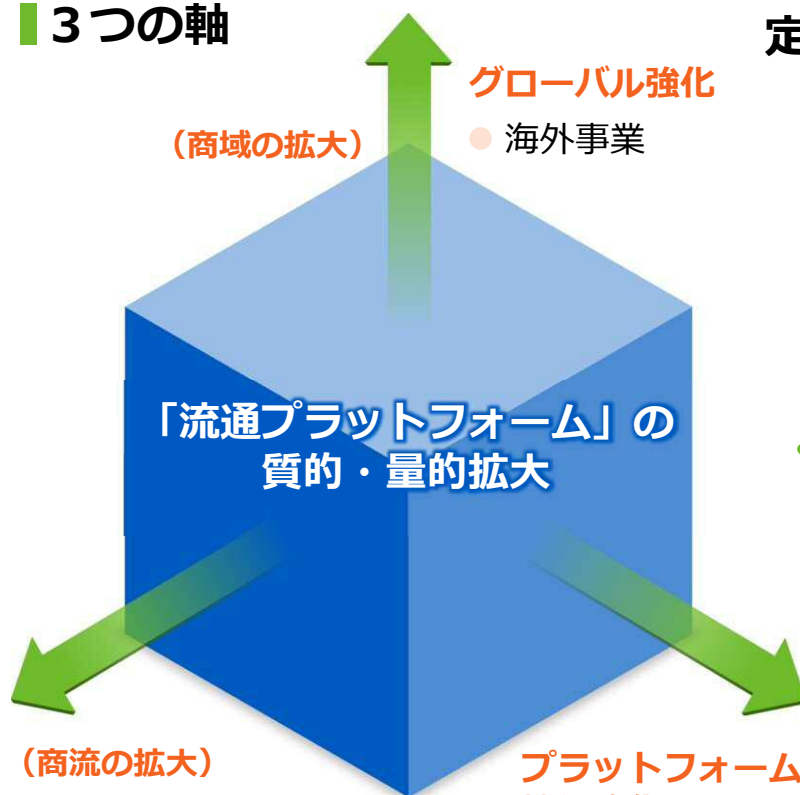
ユアサ商事株式会社

1. YUASA LEGACY 350 の骨子



3つの軸を拡大し、アジア最大級の「産業とくらしの流通プラットフォーム」の基盤を構築。さらなる競争優位のポジションを確立すると同時に、連結経常利益額100億円以上を常態化できる強固な経営基盤を確立します。

3つの軸



国内成長分野の開拓

- 環境エネルギー事業
- 国土強靱化対応事業
- 6つのコア事業セグメント

グローバル強化

- 海外事業

プラットフォーム機能強化

- 情報力強化
- 人材力強化
- 本社機能強化
- 財務体質強化

定量目標

成長分野（海外、環境エネルギー、国土強靱化）を伸ばしながら

	2015.3 実績	2016.3 実績	2017.3 業績予想
連結売上高	4,417億円	4,420億円	4,470億円
連結経常利益	103億円	110億円	113億円
連結経常利益率	2.3%	2.5%	2.5%
連結当期純利益	74億円	71億円	75億円

経営効率の向上&財務体質の強化

ROE	15.6%	13.2%	13.0%
自己資本比率	25.5%	28.0%	30.0%

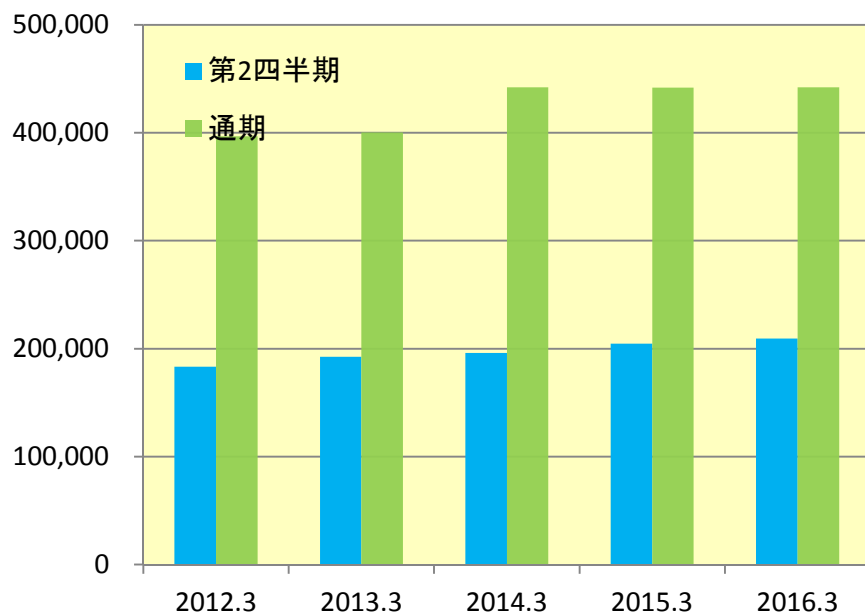
安定的な配当

連結株主還元率	24.9%	30.6%	27.9%
---------	-------	-------	-------

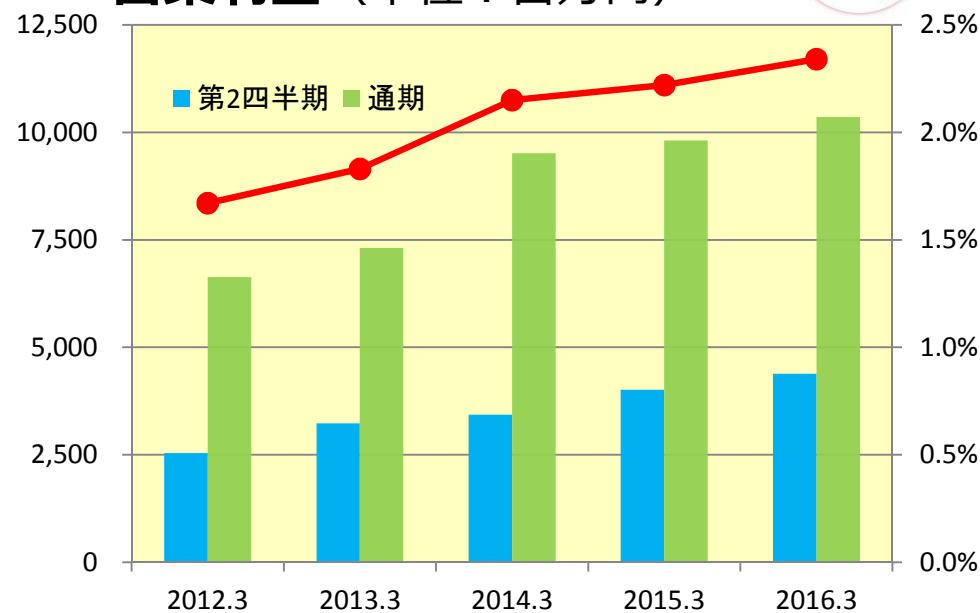
【ご参考】決算ハイライト



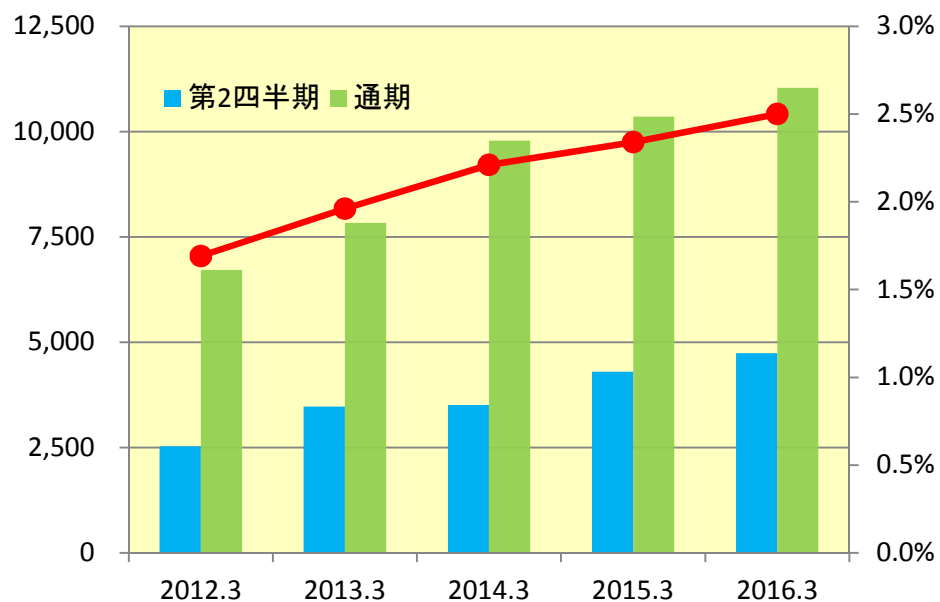
売上高 (単位：百万円)



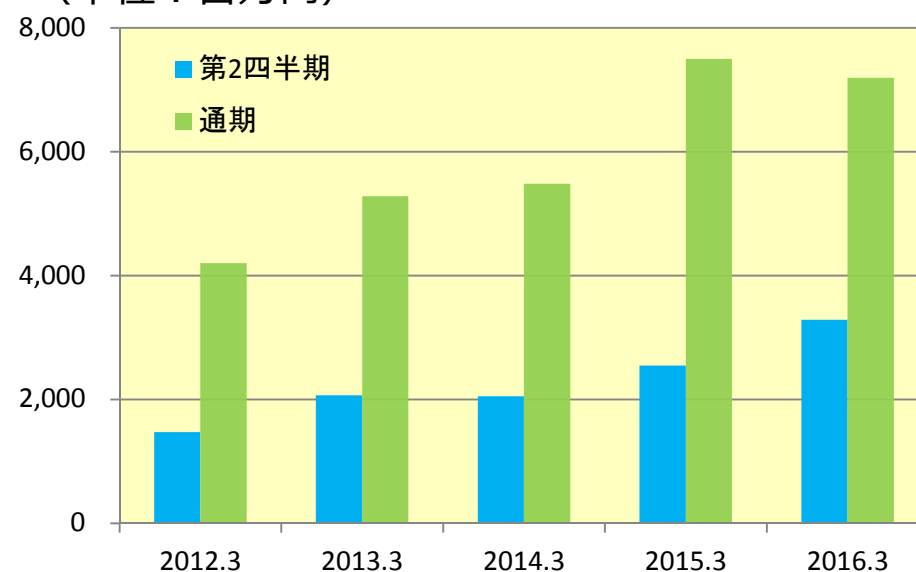
営業利益 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (単位：百万円)

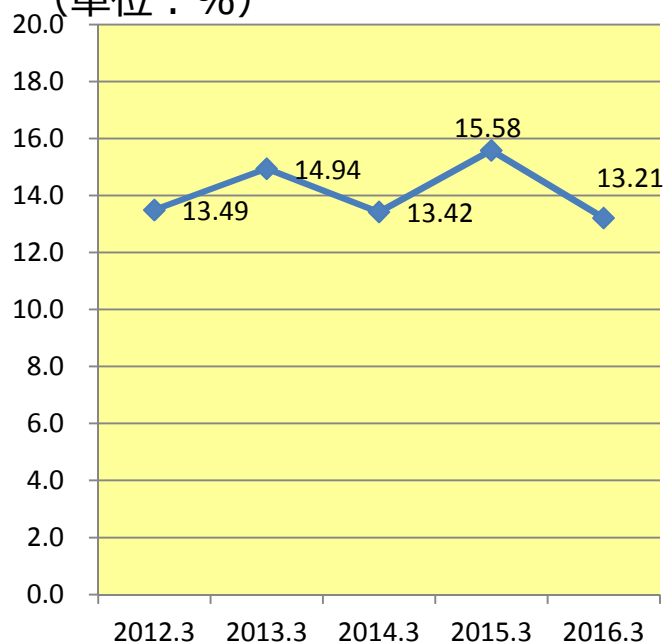


【ご参考】 経営指標

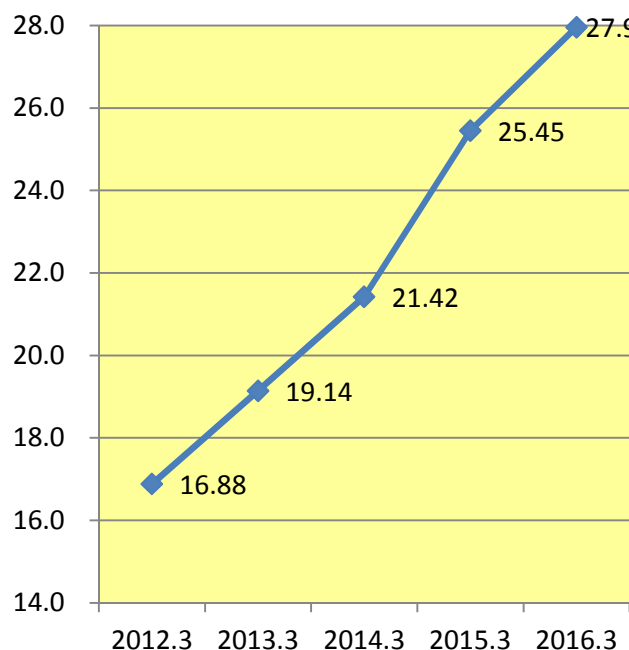


■ 自己資本当期純利益率（ROE）

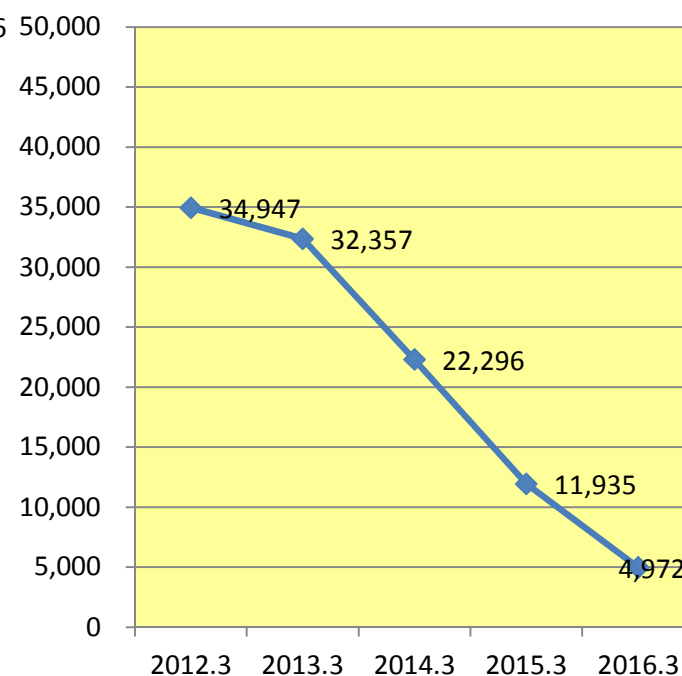
（単位：％）



■ 自己資本比率（単位：％）



■ 有利子負債（単位：百万円）



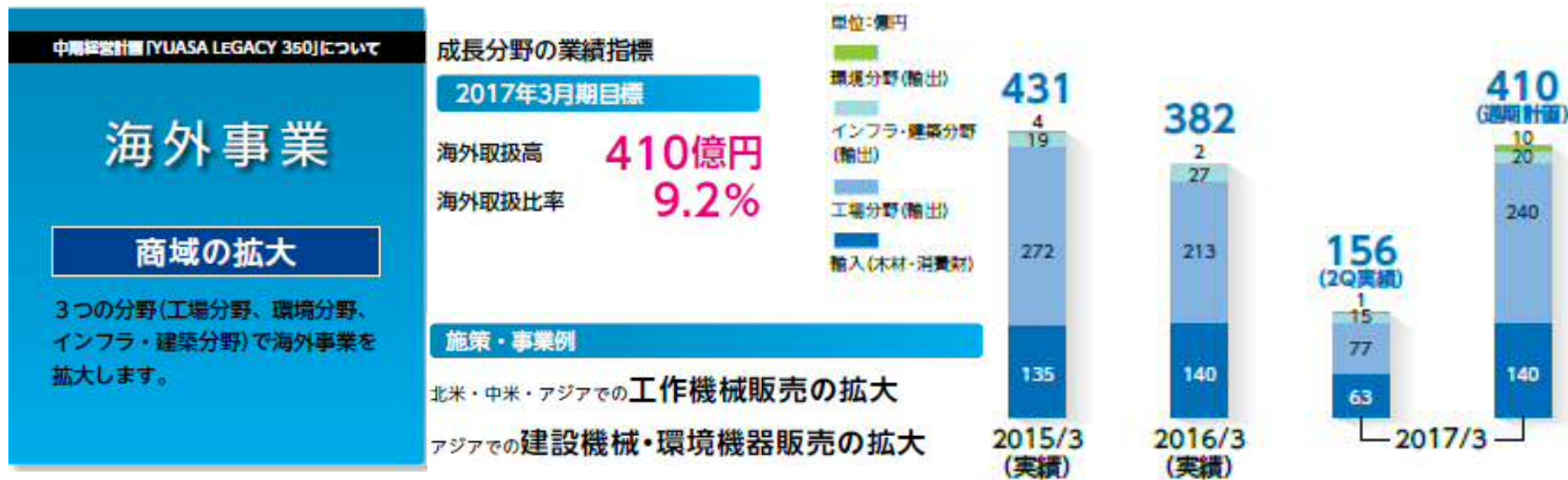
■ 1株あたりデータ（単位：円）

	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3
1株当たり当期（四半期）純利益	193.9円	242.2円	250.8円	340.8円	326.3円
1株あたり純資産	1,518.4円	1,725.6円	2,010.6円	2,370.0円	2,573.9円
1株あたり配当金（年間）	50円	60円	60円	85円	100円

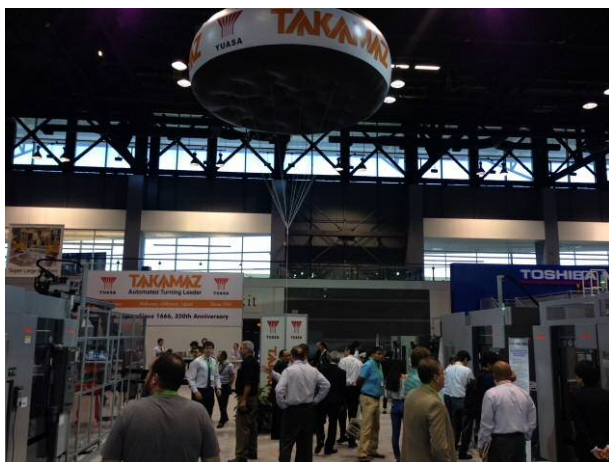
※ 「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、従来の「当期（四半期）純利益」は「親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益」に表示を変更しています。

※ 過去の実績は、会計方針の変更に伴う遡及適用後の数値を記載しております。また、1株当たりデータは2011年3月期の期首に株式併合が行われたと仮定して表記しています。

2. 海外事業



海外で自動化ラインの提案を強化



2016年9月に開催されたシカゴショーではOKK製マシニングセンタと高松機械製旋盤をローダーで連結した自動化ラインの提案を行いました。

3. 環境エネルギー事業

中期経営計画「YUASA LEGACY 350」について

環境 エネルギー事業

商流の拡大

つくる ためる つかう
「創エネ+蓄エネ+省エネ」をコンセプトに、エンジニアリングの提案からメンテナンスまで一貫したサービスを提供します。

成長分野の業績指標

2017年3月期目標

環境機器売上高

600億円

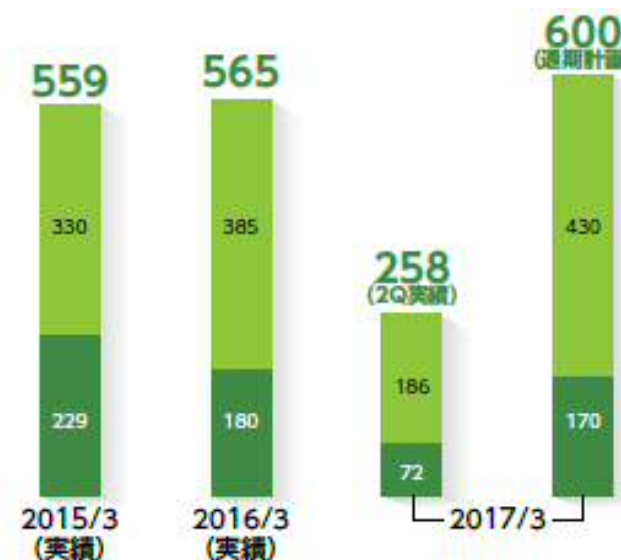
施策・事業例

創エネ（太陽光・蓄電池）販売の維持

節電・省エネ機器の販売（工場・建設）

単位：億円

省エネ・節電
 創エネ
 （太陽光・蓄電池）



ネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）提案を強化

YUASA『ZEH』パッケージプラン

商品提案

太陽光発電
 エアコン
 蓄電池
 新築住宅
 24時間緊急対応サービス

空調機:ダイキンRX
 W798mm×D370mm×H295

空調機:DX 9711LOR
 W648mm×H124

新築住宅
 24時間緊急対応サービス



右図のZEHシミュレーションソフトは、ZEHの認定に必要な空調機器や太陽光発電などの高付加価値機種の商品番を入力すると、イニシャルコスト&ランニングコストが自動的にシミュレーションされます。当社独自で開発を行い、現在全国のお取引先様に活用いただいております。

4. 国土強靱化対応事業

中期経営計画「YUASA LEGACY 350」について

国土強靱化 対応事業

商流の拡大

ハード(レジリエンス商品)とソフト(BCP支援、耐震化支援)の両輪により企業の防災・減災・BCP活動を支援します。

成長分野の業績指標

2017年3月期目標

レジリエンス商品売上高

150億円

施策・事業例

レジリエンス新商品の開発

BCP、耐震化提案(企業・自治体向け)

単位:億円

工場分野

住環境分野

インフラ・
建築分野

121

10

19

92

2015/3
(実績)

122

9

17

96

2016/3
(実績)

58

(2Q実績)

2

9

47

2017/3

150
(通期計画)

10

20

120

神奈川県箱根町の観光ターミナルに防災備蓄パッケージを納入



2016年9月に神奈川県箱根町の芦ノ湖北側にある桃源台に設置した防災備蓄倉庫パッケージ。災害時に250名が3日間滞在できるための発電機、投光機、食糧、水、浄水器等を納入させていただきました。

5. コア事業&機能強化に向けた取組み



当社は、この度以下の3社の全株式を取得し、完全子会社化を行いました。このことにより、住設・管材・空調部門、建築・エクステリア部門の収益力拡大とエンジニアリング機能の強化をはかります。

会 社 名	友工商事株式会社
本 社	大阪市中央区南船場2-4-12 ユアサ大阪ビル9階
事 業 内 容	住設機器、管工機材、建築資材及び太陽光発電システムの販売
社 員 数	102名(2016年7月)
資 本 金	98百万円
売 上 高	67億円(2015年9月期)
株式取得日	2016年7月20日

西日本における有力な住設系、管材系の専門商社であり、工務店やリフォーム会社への強固な営業基盤を有しております。



2016年10月よりユアサ商事（株）関西支社内に移転いたしました

会 社 名	東洋産業株式会社
本 社	千葉県若葉区若松町717-12
事 業 内 容	外構資材の販売事業及びエンジニアリング事業
社 員 数	21名(2016年9月)
資 本 金	50百万円
売 上 高	22億円(2015年12月期)
株式取得日	2016年10月3日

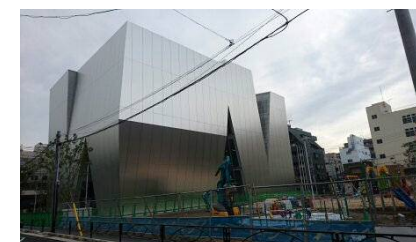
千葉県を地盤とする有力な外柵工事会社であり、県内に強固な営業基盤を有しており、大手建設会社との施工実績も多数ございます。



東洋産業が施工を担当したシエルト回廊工事（千葉県内）

会 社 名	浦安工業株式会社
本 社	東京都墨田区錦糸2-8-7
事 業 内 容	空調設備工事、給排水衛生設備工事、消防設備工事
社 員 数	93名(2016年9月)
資 本 金	1億5,070万円
売 上 高	62億円(2015年5月期)
株式取得日	2016年10月3日

官公庁を主要取引先とする設備工事会社で空調設備、給排水衛生設備、消火設備の各工事を主力事業としております。（ユアサクオビス（株）の100%子会社）



浦安工業が空調衛生工事を担当したすみだ北斎美術館（東京都墨田区）

6. 経営基盤強化（IT&ロジスティクス機能強化）



中期経営計画「YUASA LEGACY 350」について

経営基盤強化

情報力強化・拠点機能強化
人材力強化

プラットフォーム 機能強化

ITインフラ整備と拠点機能強化、人材力強化による経営基盤整備により、「産業とくらしの流通プラットフォーム」の機能強化を図ります。

産業とくらしの流通プラットフォーム

ユアサ商事関東物流センターが始動



2016年5月にユアサ商事関東物流センターが稼働を開始いたしました。プラスロジスティクス株式会社様に物流業務を委託し、物流基盤のさらなる強化をはかっております。都心から高速道路を利用して約40分、柏インターチェンジから程近い場所に立地し、複数の物流拠点の統合により、専門性の高い商品群を集約しています。

多様な取扱商品を多様な機能とともに提供する「産業とくらしの流通プラットフォーム」として、お取引先様のお役にたてる物流サービスを展開いたします。

ユアサ商事関東物流センターの概要

所在地	千葉県柏市新十番二13番 1SGリアルティ柏A棟 3F
区画	3階B・C・D区画
面積	2,530坪(事務所39坪含む)
業務開始	2016年5月



ピッキング、梱包、検品、出荷の計4工程で商品バーコードを使いデータを可視化しています。

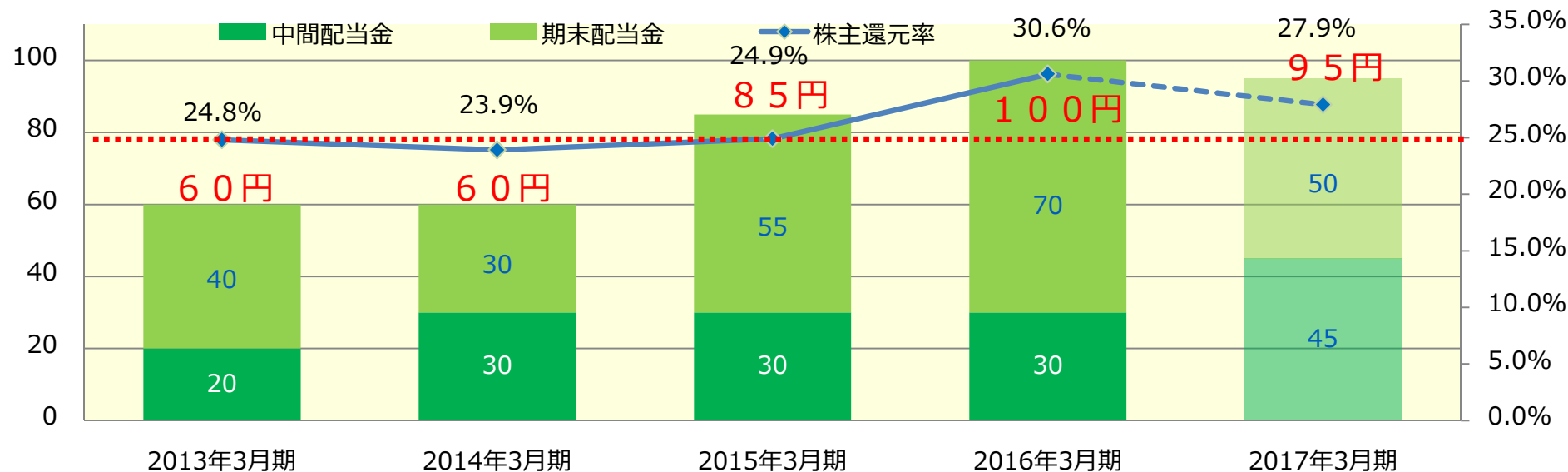


関東物流センターでは約65,000アイテムが保管されています。

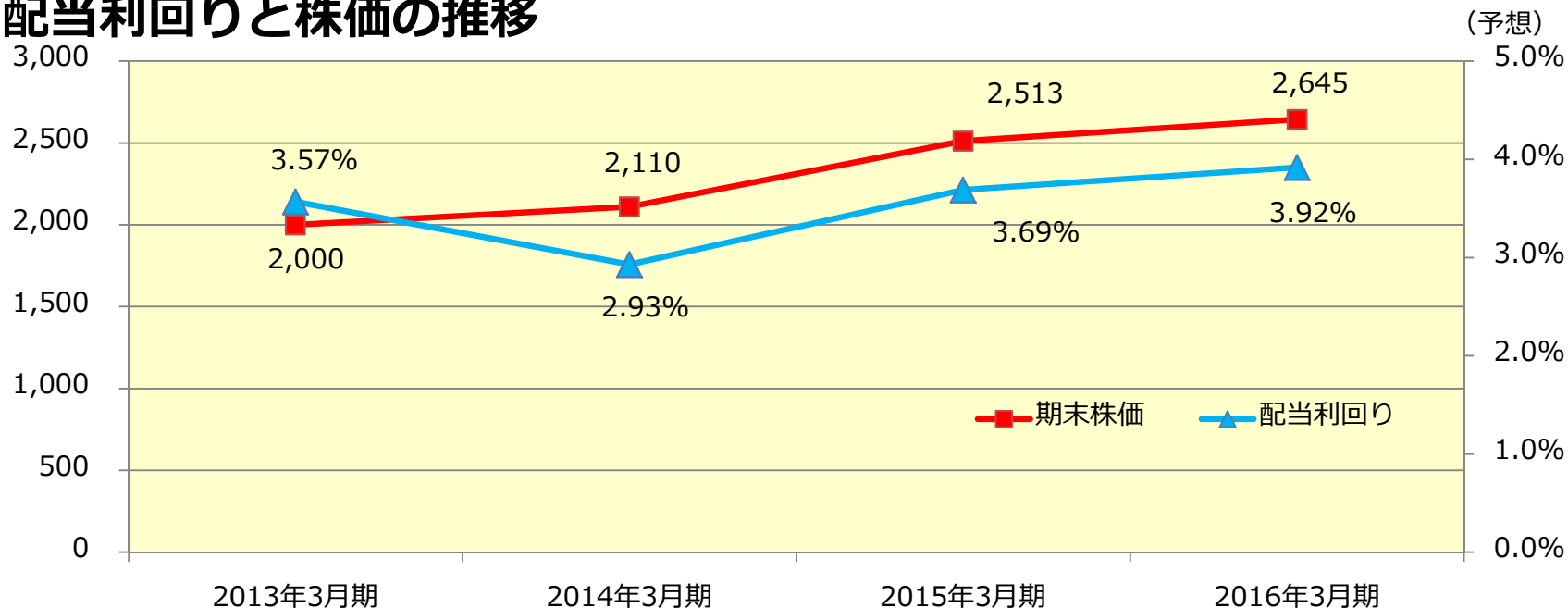
7. 配当金と配当利回りの推移



1株あたり配当金と株主還元率の推移（単位：円）



配当利回りと株価の推移



(注1) 1株当たり配当金は、比較を容易にするため株式併合前の配当金を10倍にしています。

(注2) 期末株価は3月末の株価を記載しています。なお、株式併合前の株価は比較を容易にするため株価を10倍にしています。

(注3) 年間配当利回り = { (中間配当金 + 期末配当金) } ÷ (中間株価 + 期末株価) ÷ 2 } × 100

◆本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に含まれる当社の将来における計画、戦略、業績に関する見通しの記述については、当社が同日の段階で把握可能な情報から判断したもので、不確定要素を含んでおります。

これらの見通し等は、内外の政治経済情勢、主要市場における需要動向の変動、諸制度の変更など様々な重要な要素により実際の業績と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

◆本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など将来の予測に関する内容が含まれています。

これらは弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があります。

弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。



ユアサ商事株式会社

総合企画部

〒101-8580 東京都千代田区神田美土代町7番地

TEL. 03-6369-1133 E-mail. souki@yuasa.co.jp



【MEMO】



【MEMO】

